

平成27年度 第2回 佐倉市立美術館運営協議会

議事録

日 時：平成28年2月28日（日） 14：00～16：00

場 所：佐倉市立美術館 4階会議室

出席者：以下のとおり

（委員 9名）

樋田委員（会長）、大久保委員、高橋委員、田中委員、豊田委員、
広本委員、村田委員、安本委員、吉村委員

（美術館職員 6名）

宍戸館長、永山主査（学芸員）、黒川学芸員、小川主査補、
西川主事（学芸員）、山本主事（学芸員）

会議次第

1. 開 会
 2. あいさつ
 3. 報告事項
 - ・平成27年度事業報告について（公開）
 - ・平成28年度事業計画等について（公開）
 4. 作品の受け入れについて（非公開）
 5. 閉 会
- <展覧会鑑賞>

【報告事項】

平成27年度事業報告について
<美術館から説明>

（委員）学校連携の中の出前授業についてですが、実施されたのは小学校ですか、中学校ですか？また、それは何年生ですか？

(美術館) 下志津小学校6年生と千代田小学校5年生の2校です。下志津小は美術館の鑑賞教室に来る前の事前授業、千代田小は単独の出前授業として伺いました。

(委員) この出前授業の内容については「学習指導要領」のようなものを参考として、学年によってその内容を変えたりしているのですか？

(美術館) いえ、今回の授業は「ミテ・ハナソウ」の鑑賞コミュニケーターによるアートカードゲームなので、2校とも同じ内容です。

(委員) 学校のカリキュラムでは美術館との連携について、どのような位置づけがなされているのでしょうか？

(美術館) 各学年の指導要領では、美術鑑賞の中に「地域の美術館と連携すること」と書いてあるのですが、その位です。

(委員) 美術館バスに使用しているバスは借り上げですか？市所有のバスは使えないのですか？

(美術館) 十数年前に青年バスというのがあったのですが、現在は予算上の問題で全て借り上げバスとなっております。

(委員) 私の娘が小学生の時、担任の先生が美術を専攻する方で、その先生の美術の授業がとても有意義でした。また、南部中学校には電気窯が入っているのですが、熱心な美術の先生がおられた時は陶芸も授業に取り入れておられました。こういう風に美術に精通している先生がいるのといないのとでは、子どもにとって大きな差が出てしまいます。

(委員) 図工の指定校は文科省で決めるのでしょうか？

(委員) 文科省等です。美術専任の先生を入れるかどうかは各教育委員会の判断によります。そうした状況の中では美術館・博物館の方から各学校へ働きかけることが重要になってくると思われます。子どもが美術館に来るきっかけを如何に多く作れるかどうか、遊びに来る感覚で美術館を訪れるようになれば良いと思います。その年齢が低くなればなるほど、美術館に対するハードルは低くなると思われます。

(美術館) 現在開催中の「魔法の美術館」もこれまで美術館を訪れなかった年齢層の動員に成功していると思われます。また、当館は毎年「幼少中図画書写展」の会場となっており、美術館に自分たちの作品が展示されているところを観るために多くの子どもとその家族が訪れる機会となっています。

(会長) 「ミテ・ハナソウ」という教育普及活動をやってきて、手応えはありましたか？

(美術館) 実施後に担任の先生と話していると普段あまり発表しない子がたくさん発言をしたり、熱心に感想を書いてくれたりと、学校の授業とは違う反応が見いだせて、そういうところには手ごたえを感じました。

(会長) それでは27年度については、ここまでにしたいと思います。

平成28年度事業計画等について

<美術館から説明>

(委員) この「カオスモス」とは、具体的にどのような展覧会ですか？

(美術館) 千葉出身、千葉在住、アトリエを千葉に持つなど、千葉県に関係する若手作家を中心に紹介する展覧会です。(一昨年、国立新美術館で個展が開催された)中村一美といった作家をはじめ、千葉県の美術のレベルは決して低くありません。そうした県内の美術状況を報告することを目的とした展覧会です。

(委員) ご遺族が芝千秋の作品を教育普及のため、貸し出すように寄贈されていると思いますが、私の大学でも以前、鑑賞文の指導のための授業にその作品使わせていただきました。この資料について、その後の活用状況については如何ですか？

(美術館) 今年度は南部中学校と佐倉中学校の2校に貸し出しました。実際は、本物の作品を扱うことに抵抗を覚える先生もいらっしゃるようです。

(委員) 館長が先日、別の委員会で「本物だと取扱いに気を使うという声があったので、複製を作ることも検討する」というようなことを仰っていたと思いますが、それについては如何ですか？

(美術館) 芝千秋の作品ではないのですが、「国内で見られる日本の名画」、「国内で見られる西洋の名画」というシリーズは既に貸し出しをしております。額縁の中に12点の名画の複製が入れてあり、授業に応じて自由に入れ替えられるものです。

(委員) 「カオスモス」では、現代美術を取り上げるということですが、この現代美術とはどのような意味ですか？また、扱うジャンルは絵画、彫刻だけですか？

(美術館) この展覧会における現代美術とは同時代の美術のことを指しています。要するに現存作家の中で、優秀な作家であれば、出品をお願いするようにしています。ジャンルについては、特に限定をしております。これまでに絵

画、彫刻以外に版画、工芸、アニメーションといったジャンルの作品を紹介しています。

(委員) タイトルをもう少し分かりやすくできませんか？

(美術館) 仰るとおりだと思います。毎回、副題をつけているのですが、そこからは出来るだけ分かりやすくしようと心掛けています。

(委員) この「カオスモス」や、その前の「チバ・アート・ナウ」シリーズからは国際的に活躍する作家が何人も出ています。私はこのシリーズにとっても期待しているのですが、今後は千葉に縛られることなく、県外、更には海外の作家を紹介されると良いと思います。

(会長) 例えばこういう資料を作る際、展覧会においてどういう作品を扱っていくのか？最近流行っている、多くの人間が関わるアートプロジェクトのようなものも含むのか、もう少し具体的な説明をするように心掛けてください。

(美術館) 次回の会議までには整理させていただきます。

検討事項について

①「佐倉市文化財施設の相互割引サービス」について

②美術館の事業予算について

(会長) 美術館の予算額について分かりやすくグラフにさせていただきました。このグラフだと職員人件費が全体の35%も占めているということでしたが、国の予算だと職員人件費が7割を占めている場合もあります。ちなみに企画展事業の予算については、臨時予算の中に組み込まれているのですか？

(美術館) まず、経常予算と臨時予算というように分かれています。企画展と施設改修といった事業については、毎年臨時予算の中で要求しております。

(会長) この美術館では、学校連携や教育普及事業について熱心に取り組んでいるのに、こうしたグラフで見ると予算の比率が少ないように感じます。それらの事業について臨時予算の中で再構成し、もっと規模を大きくしていくことを考えても良いかもしれませんね。

(委員) 歳入予算について、目標値に達しない場合、何かペナルティはあるのですか？

(美術館) いえ、目標値に関しては毎年少し厳しめに設定していますので、目標値に達していないということはこれまでは無かったと思います。

③「Face Book」などのソーシャルネットワークサービスの使用等について

(委員) 「高橋真琴の原画展」は娘と一緒に来ました。若い世代は可愛い絵を楽しみ、子どもの頃に見ていた世代は、グッズ類を見て「自分も使っていた」と大喜びでした。今回、美術館でお作りになった図録は決して厚いものではないのですが、イラストがカラーでたくさん掲載されていたり、後ろの資料がしっかりしていたり、良く出来ていました。娘も最初は厚い図録を欲しがっていたのですが、私は美術館の図録を購入しました。価格が1,000円で買いやすかったからです。

(美術館) 良い評価をいただき、ありがとうございます。

(会長) それでは検討事項については、ここまでにしたいと思います。